

高校1年 学年通信 No.13

2019年3月20日

春暖の候、皆様におかれましては、ますますご壮健のこととお喜び申し上げます。また、平素は学校活動に多大なご理解とご支援を賜り、感謝申し上げます。

さて、本日で高校1年生が終了いたします。生徒のみなさんにとってこの1年は、どのような1年だったでしょうか。それぞれが中学までとは大きく環境が異なることで、戸惑ったこともあったかもしれません。学習においては、内容は難しくなり量も増加しました。部活動においても、求められるレベルが高くなり練習の負荷も上がったことと思います。高校生としてのペースをいち早くつかめた人、なかなかペースがつかめなかった人、どちらにとってもこの1年間は自分自身の次へのステップのための経験となります。あくまでも通過点ですので、さらに成長できるようにしっかりと振り返り次の行動につなげてもらいたいと思います。大切なのは、

「進むべき道を自ら照らすことができるか」
「その道を進むために自分に必要になるものは何かを探せるか」
 ではないでしょうか。

明治初期の啓蒙思想家である福沢諭吉は、次のような言葉を残しています。

「進まざる者は必ず退き、退かざる者は必ず進む。」

目標に向かっては進むしかありません。進もうとしなければ、現状維持すらできなくなります。自らの意思で進むべき道を探し出し、今できることに精一杯取り組み続けることを続けてもらいたいと願います。



～福沢諭吉～

本日の配布物

1. 成績通知表 *十段階での評価が示されています。
2. 考査成績表(学年末考査)
3. 学年通信
4. 三学期会計報告
5. クラス決定通知
*1.～5. は封筒に入れて持ちかえらせます。
6. 春休みの心得
7. 人権通信「青空」
8. 春休み課題一覧
9. ほけんだより
10. スタサポ活用BOOK
11. スクールダイアリー2019
12. キャリア甲子園礼状 2部

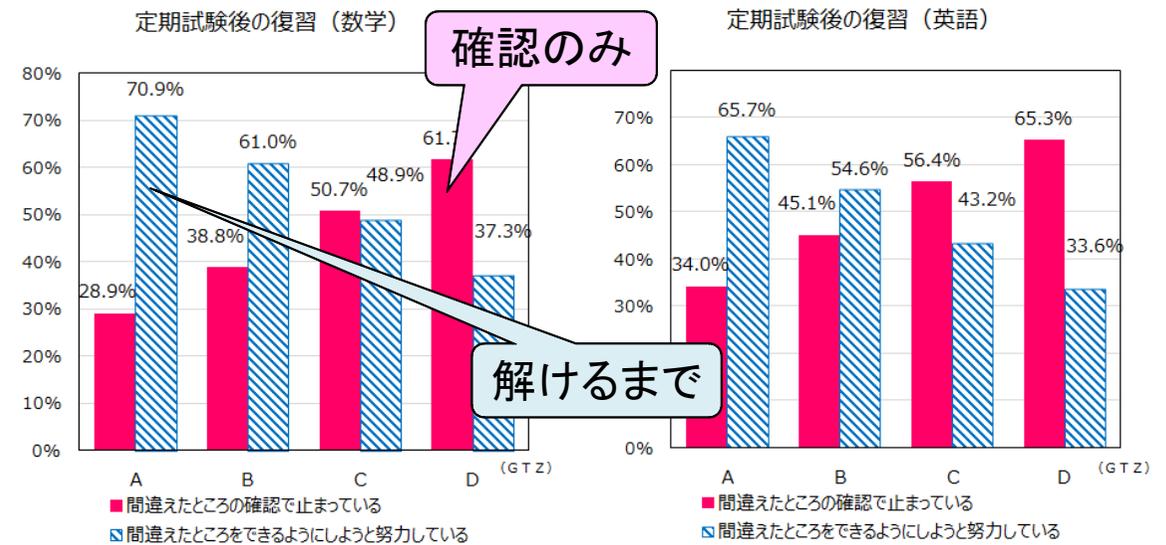
終業式



春休みの使い方

下のグラフは、『定期考査後の復習レベル×模試成績』を示したものです。当然ですが、「間違えたところの確認で終わった生徒」よりも**「間違えたところをできるように努力した生徒」の方が模試成績は高い**傾向があります。

定期考査後の復習レベル × 模試成績



「間違えた問題をできるように努力」した人の方が、模試成績が良くなっている。

定期考査の目的は、現在の学習内容の理解度を測るものです。しかし、その結果がそのまま大学入試結果となるわけではありません。大切なのは学習した内容をいかに定着させるかなので、定期考査後の復習こそ意義のあるものなのです。

来年度は、進路目標を明確にすることが大切な課題となります。多様な進路選択を可能にするためにも、「春休みのうちに、今年度に学習した内容の取りこぼしをなくしておく。」ことが必要です。学年の変わるタイミングであるこの春休みは、その絶好のチャンスです。

来年度の主な予定

4月	9日(火)	始業式 *宿題提出中心日
	10日(水)	身体測定
	11日(木)	スタディサポート
	12日(金)	授業開始